

仙台市障害者等保健福祉基礎調査  
障害当事者への聞き取り結果【就労】

調査対象	内 容
身体障害	児童館で仕事をしており、障害があることは伝えているが、子供は遠慮が無いため、力いっぱい叩かれたりすることがあり、苦勞することが多い。子供が好きなため仕事を続けているが、体力的にこの先も続けられるか不安を感じている。
身体障害（視覚）	就職活動において、なかなか内定がもらえないと感じる。その会社に有用と思われるスキルを持っていても障害があるからなのか、採用してもらえない。面接試験まで進んでも、そこで落とされてしまう。
身体障害（聴覚）	電話の対応ができる人というのが採用条件となっているところが多い。また、募集内容には電話対応とは書いていなかったが、やはり電話対応、コミュニケーションができないことは条件に合わないということで断られたことも何件かあった。
	現在の職場の人達とは筆談で対応している。
	現在の仕事は自分一人で進める仕事为中心のため仕事自体は問題ないが、休憩時間等に同僚と雑談をする際にコミュニケーションに困難さを感じる。
	職員室での雑談時、相手が何を言っているか分からないことがある。また、教室が騒がしい時に児童生徒が何を言っているのか聞き取れないことがある。
知的障害	仕事は平日の9時～15時頃までで、仕事内容は、段ボール箱の組み立てや緩衝材の作成、除草作業等がある。基本的に1年間は継続して同じ仕事をしている。
	同じ仕事を続けるので、職員がいなくても自分たちでできる。特に困りごとは無い。
	同じ作業が続くので飽きると感じることもあるが、仕事だと思って続けている。仕事がもらえるのはありがたいことだと感じている。
精神障害	過勞とパワハラで体調を崩し、療養環境をうまく作れず、入院となり精神障害1級である。今は就労継続支援B型で在宅と通所をしながら生活している。障害年金を受給できるようになって生活がなんとかできるようになった。
	発達障害・精神障害で困っているという話をすると、「自分も体調が悪かったりすると生きづらさがあるから、君も頑張れば発達障害、精神障害じゃない」といった理解のされ方、「君が辛いのは分かるから一緒に頑張ろう」という感じの共感の仕方で頑張らせようというのが家族間や職場内であり、困っている。
	発達障害で生きること自体には困らないが、就労で困難さを感じる部分がある。しかし、困難ながらも働き、暮らしていけているので「十分働けるだろ、甘えてるだけ」と周囲からは言われることがある。
	コロナ前までは通所するB型就労継続就労支援事業所の中で人との交流があったが、今はコロナ禍で午前・午後と別れているということもあり、忙しくなってしまうと、作業ができる人はひたすら作業をして過ごしている。辞めていく方も何名かいた。
	就労継続支援B型事業所に所属しているが、今は全く行っていない。理由としては、扶養に入っていることで利用料が1万円弱かかってしまうため。作業内

	<p>容としては 300 円くらいの工賃であり、マイナスになりたくないと思うので通所していない。</p> <p>就労継続支援 B 型を利用しているが、事業所が工賃を上げることに必死になっており、最近仕事がハードになったと感じる。ついていけない人はついていくのだが、ついていけない人は挫折感を味わってしまっていて来なくなる方もいる。仲間が減っており、ある意味淘汰されていると感じることがある。</p> <p>就労の選択肢が A 型か B 型かという選択肢しかなく、幅が狭いと感じる。A 型や一般の障害者雇用の場合週 5 で働くことが求められる。週 3 くらいであればできるかもしれないが、週 5 は厳しいと感じている。A 型 B 型の間のような、週 3 くらいでも自分である程度働き方を選ぶことができるようになれば、毎回通えるようになるかもしれないという思いがある。</p> <p>工賃設定に柔軟性がないことが課題であると思う。ベースの工賃に加え、事業所の貢献度に応じた段階的な工賃の設定がもっと柔軟にできるのであれば、軽作業の参加意欲が高まったり、「もっと社会と関わろう」と利用者も思うのではないか。</p>
発達障害	<p>以前利用していた就労移行支援施設で仕事上のミスをした際に、あなたのような人はできなくても仕方ないと言われたことがある。かなり屈辱的だった。</p> <p>困った時に、職場の人に助けを求めるときにどう説明したらよいか悩むことがある。</p> <p>一緒に働いている人とトラブルにならないか、周りの人に迷惑をかけないか不安を抱えながら仕事をしている。</p> <p>勤務初日に教えてもらったことが 1 年以上かけてもできなかったという経験がある。仕事ができないので死に物狂いで仕事に取り組まなければいけないのだが、そうすると体力の問題から翌日に支障をきたし、ぎりぎりまで追い詰められてしまう。また、一度信用できない人だと思ってしまうと、職場の上司であっても相手のいうことを聞けなくなる。就労するとなると上記のようなさまざまな問題があり、自身が就労のメリットを感じていないことに悩んでいる。</p> <p>働きたい思いはあるが、ストレスから様々な病気を抱えており、体調面的に難しいと感じている。</p>
高次脳機能障害	<p>毎日就労移行支援事業所に通所している。周りの人とコミュニケーションをとれるし、困ったことがあれば相談にも乗ってもらえるので、助かっている。</p> <p>失語症の再就職率の低さは、周囲の障害に対する理解の低さも原因だと思う。</p> <p>障害者施設にて就職の面談を行ったが、2 週間回答が来なかった。失語症があるため「伝わらないのでは」と気を回されて返答が無かったのでは、と感じている。</p> <p>失語症の場合、再就職が難しい。企業側への教育も必要だと思う。就労しながらリハビリを受けられる環境があれば嬉しい。</p>
医療的ケアが必要な方	<p>就労支援事業所は A 型と B 型どちらも見学したが、医療的ケアが必要な娘にできるようなことはなかった。</p> <p>チームをまとめる役割を果たすことができるようになったのだが、役職を付けてもらえない。</p>